

行動規範





Albert M. Baehny, Chairman of the Board and Pierre-Alain Ruffieux, CEO

当社の目的

毎日、当社製品やサービスが非常に多くの人々の生活にプラスになる影響を与えています。これは、素晴らしい名誉であると同時に、責任も重大であることを意味しています。実績をどのように達成したのかも、実績自体と同じくらいに重要になります。

世界中で、当社は、毎日私達がサービスを提供している地域、部門や市場に渡り、高品質と運営の卓越性を固く約束し、事業を推進しています。お客様が成功し、力を得て、信頼を受け、誠実に事業を行うという情熱に則り、事業実施方法や互いにやりとりする方法を決定しています。個人として、そしてチームとして、私達はLonzaを皆が目指し、根を下ろし、成長する場所にしようと努めています。

当社の取り組み

私達は下記に真剣に取り組んでいます：

- お客様に価値を提供する
- 従業員が成功できるように権限を付与する
- 絶え間なく業績を向上させる
- Lonzaをコミュニティ内で認められるメンバーにする

健全性ある業績

●●● 基本データ：健全性

120年以上に渡り、Lonzaはその倫理的業績において不朽の評判を築いてきました。当社では人材を尊重し、地球に配慮し、コミュニティに従事しており、それらすべてが成功の重要な要因となっています。

今日のグローバルビジネスにおいて、今まで以上に企業が責任と誠実さをもって行動することが期待されています。Lonzaでは、お客様や事業運営するより幅広い社会から信頼を獲得し続けなければ、評判を維持できないことを理解しています。

当社の倫理的基準や実践を皆さん1人1人が守ってくれるものと期待しています。同僚と働く場合でも、お客様や外部関係者と働く場合でも、Lonzaのために働く人間は全員、100%透明性のある行動をし、責任を持たなければなりません。

当社の行動規範は、皆さんの選択肢を検討し、よい決断に役立つように作成されています。倫理やコンプライアンスを高い基準で維持することを、その他の検討要素よりも常に優先しなければなりません。このような基準により、運営ライセンスを継続して確保でき、長期に渡り事業で成功を収めることができます。私達を不安にさせるような行動や実践に対して、何も恐れることなく声を出し、異議を唱えることができる文化を創造しなければなりません。見解を共有し、問題を特定し、間違いを防ぐ上で、私達全員が重要な役割を担っています。

当社の倫理的責任は、特権でもあり、連帯責任でもあります。何世代にもわたり、Lonzaの人材は事業実践の最高レベルの基準を守るために働いており、彼らを手本にしなければなりません。そうする上で、私達自身のプロ意識とプライドを向上させるだけでなく、私達の後の世代のために、事業の未来を確保しなければなりません。

Albert M. Baehny
Chairman of the Board

Pierre-Alain Ruffieux
CEO

- 2 当社の目的
当社の取り組み
健全性ある業績
- 3 当社の真価
グローバルコミットメント。現地責任。
Lonzaのリスクを負い、管理するのは誰か？
行動規範が適用されるのは誰か？
- 4 トピック
- 7 実施/維持/管理/施行方法

当社の真価

Lonzaは、当社人材やコミュニティへの投資、調達、環境、健康や安全へ責任を持つことを含む、持続可能な価値に対し、責任をもって取り組んでいます。Lonzaでは人権を支持し、尊重しています。コミュニティへの投資には、特に、Lonza、当社事業や顧客層、当社従業員や利害関係者に関連するトピックに関して、透明性の高い対話へ貢献しようとするLonzaの市政への取り組みが含まれます。

●● 基本データ：政治関与の原則

グローバルコミットメント。現地責任。

社会のメンバーとして、Lonzaは、国連のグローバルコンパクトからその他の持続可能性や企業社会責任に至るまで、責任ある業務遂行に真剣に取り組んでいます。Lonzaは、政府、規制団体、パートナー、お客様やベンダーとの関係において、責任ある行動を取ります。企業として成功するには、当社の利害関係者全員の変化するニーズに応えるため、しばしば組織や地理的垣根を超えて、一丸となって協力しなければなりません。

全従業員は、あらゆる準拠法に従い、最高レベルの倫理および職業上の基準を維持し、社会的および環境的責任に沿った行動を取り、オープン、忠実、公正な取引、完全性、相互尊重や誠実という基本的な価値を持ち続けることが義務付けられています。従業員は自分の責任分野におけるベストビジネスプラクティスを習熟し、誠実に実行して下さい。

Lonzaのリスクを負い、管理するのは誰か？

Lonzaの成功は、あらゆるレベルのLonzaにおいて、事業遂行も、リスクの管理も、Lonzaの従業員の成功にかかっています。リスク管理と制御の健全な原則では、Lonzaのビジネスリスクは、従業員1人1人がその日々の仕事において管理すべきものであると示唆しています。第2ステップとして、品質保証、財務、法務、IPや倫理とコンプライアンスのような部門が独立してチェックし、制御しなければなりません。第3ステップとして、社内監査が定期的なレビューを実施し、リスクを制御します。よって、リスクの問題所有意識は、やはり従業員1人1人にあり、倫理やコンプライアンスを守る言動に対するアカウントビリティも同様に、両方とも他人任せにできるものではありません。

行動規範が適用されるのは誰か？

本行動規範はLonzaの全従業員、子会社、取締役会メンバーに適用されます。全従業員は、自分の活動に適用されるあらゆる法律、規則やベストビジネスプラクティスを知り、理解し、遵守することが期待されています。さらに、例えば、汚職防止や賄賂防止法のように、従業員が働く国以外で起こった行為に適用される法律もあります。自分の活動に適用される法規則が不確かな場合やさらなるサポートやアシスタントが必要な場合、マネージャや法務部に必ず相談して下さい。

本行動規範は、Lonzaの最も重要な方針のいくつかをカバーしていますが、全てを網羅するものではありません。皆さんが意思決定する際に適格な判断を行い、本行動規範に記載のない質問や不安がある場合、助けを求めるものと、当社は信頼しております。



このアイコンが表示されている場合、Lonza従業員はイントラネットの参照方針を参照して下さい。



このアイコンが表示されている場合、Lonza従業員はイントラネットの倫理とコンプライアンスの下にある基本データを参照して下さい。

トピック

貿易制裁と輸出規制

戦争行為や軍事活動に誤用されかねない技術、物質や資材の取引、違法ドラッグの製造、その他の国際的に禁じられている活動を回避する国際的な取り組みを、Lonzaは支持しています。Lonzaでは、該当する全ての貿易制裁と輸出規制法令を遵守することを約束しています。

●● 基本データ: 貿易制裁と輸出規制

 Lonzaの貿易規制方針

品質

Lonzaは、その化学製品とバイオテクノロジープラットフォームを通じ、生命科学業界における極めて重要なサプライヤーになるために真剣に取り組んでいます。当社のあらゆる活動は、業績を向上させ、お客様に最高レベルのサービスを提供していこうという継続した推進力の礎である、当社のビジョンによって導かれています。品質を守る姿勢は当社従業員にしっかり根付いています。従業員1人1人が、お客様に高品質な製品を届けることに全力を尽くさなければなりません。

●● 基本データ: 品質

 Lonzaの品質方針

環境、健康と安全 (EHS)

Lonzaでは、人、環境や施設に害や損傷を与えないような運営と慣習を行うことに真剣に取り組んでいます。

当社のビジョンは、ケガゼロ、製造過程事故ゼロ、流通過程事故ゼロ、環境事故ゼロです。これらの目標をサポートするため、従業員は、あらゆるEHS事故、ニアミスや危険を全てマネージャーに報告し、危険な慣習や状態を是正する措置をとり、当社のEHS業績の継続的改善を追求して下さい。

●● 基本データ: 環境、健康と安全 (EHS)

 Lonzaの環境、健康と安全に関する方針

差別禁止と雇用機会均等 (EEO)

Lonzaでは、人材は成功の礎であると認識しており、多様性を企業の強みとして尊重しています。Lonzaは差別のない職場慣習を約束しています。役職に関わらず、全従業員は公平かつ丁寧に、尊敬の意をもって同僚を扱うことが義務付けられています。

Lonzaでは、民族、国籍、肌の色、宗教、婚姻状況、性的嗜好性、性同一性や性表現、宗教、年齢、性別、障害、退役軍人であるかなどの特徴により、口頭、電子媒体を使用した、あるいは身体的な差別、ハラスメントやいじめを一切許容しません。また、Lonzaでは、当社製品の研究、製造、販売、流通において、また当社のサプライヤーによる児童労働、人身売買、奴隷労働や強制労働への従事やサポートを一切許容しません。

●● 基本データ: 差別禁止と雇用機会均等 (EEO)

利害対立

Lonzaの最大利益はあらゆる商取引において最重要検討事項です。Lonzaにとって最適なことをすることが重要です。Lonza従業員の個人的活動や関係が、Lonzaにとって最適なことをするという目的を阻害する際に、利害対立が発生します。Lonza従業員の個人的利益とLonzaの利益の間に対立が発生する、あるいは発生しているかのように見える状況は避けるべきで、もしあればマネジメントに情報開示して解決して下さい。

●● 基本データ: 利害対立

汚職防止と賄賂防止

Lonza従業員は、政府職員(政府管理局、国有企業や公共団体の従業員を含む)やその他のサードパーティ(お客様やサプライヤーを含む)に対し、あらゆる商業的利益を獲得または保持する目的で、支払や不適切な金銭的メリットを提供することは一切許されません。賄賂、キックバックや同様の支払は、政府職員やお客様、サプライヤーやその他の民間団体に関わらず、決して許されません。同様に、Lonza従業員は、そのような支払の依頼も、受取も許されません。Lonzaの全従業員およびLonzaを代表して活動するサードパーティは、該当する全ての賄賂防止法規則を遵守しなければなりません。

●● 基本データ: 汚職防止と賄賂防止

 Lonzaの汚職防止と賄賂防止に関する方針

ビジネスギフト

当社の事業に関連するギフトや寄付金の提供、依頼や受取は禁止されています。ただし、一般的な企業のもてなしとしての取るに足らない金額の接待やギフトであれば、準拠法に違反しない場合許されます。

●●● 基本データ: ビジネスギフト

 Lonzaのビジネスギフトに関する方針

インサイダー取引

Lonza従業員が、Lonzaあるいはその他の企業に関する重要な非公開情報（例えば、合併、吸収、重大な契約、決算、重大な研究や革新結果など）を知ることになる場合があります。かかる情報を所有している従業員は、Lonzaあるいはその他の企業や関連企業の株式、有価証券やデリバティブなどの金融商品の取引が禁じられており、かかる内部情報を他人に開示することも禁じられています。インサイダー取引を含む、守秘義務違反は準拠法に違反しており、民事または刑事起訴される場合があります。

●●● 基本データ: インサイダー取引

 Lonzaのインサイダー取引に関する方針

公正なる競争

Lonzaは公正なる競争の原則を守り、カルテルやその他の独占的慣習の実行を制限する法律を尊重しています。Lonza従業員は、独占禁止法や競争法と、自分の事業分野におけるその意味合いを知っておかなければなりません。

さらに、他社に関する事業情報も、倫理的かつ法律や守秘義務に違反しない方法でのみ収集・使用しなければなりません。Lonza従業員は、虚偽の陳述、策略、盗用、スパイや賄賂のような違法または非倫理的な手段で、いかなるサードパーティを使用や依頼して情報収集することは絶対に許されません。

●●● 基本データ: 公正なる競争

 コンプライアンスと競争法に関するLonzaガイドライン

事業資産と機密情報の使用と保護

Lonzaが毎日生み出す製品、サービス、アイデア、コンセプトやその他の情報は、重要な会社の専有事業資産です。Lonza従業員は、Lonzaの事業資産を保護し、慎重に使用する義務があります。

企業秘密を含む慎重に取り扱うべき情報や、業務上の秘密に関しては秘密厳守して下さい。Lonza従業員は、正当な事業目的以外で機密情報や慎重に取り扱うべき情報を開示することは禁止されており、適切な予防手段をとらなければなりません。

●●● 基本データ: 機密情報

 Lonzaのグローバル守秘義務に関する方針とIT方針

知的所有権

Lonzaの知的所有権を保護することは、Lonzaの競争メリットを維持するために不可欠です。Lonza従業員は、あらゆる商業的に重要な知的所有権におけるLonzaの権利の確立、保護、維持、防御を支持し、責任ある方法でそのような権利を使用することが期待されています。

●●● 基本データ: 知的所有権

 Lonzaの工業所有権 (IPR) に関する方針

記録の正確性

Lonzaでは、全従業員が帳簿、記録や収支計算書を正確に記録し、あらゆる取引、資産の処分やその他のイベントを公正に反映させることを期待しています。Lonzaを代表する支払に関して、支払の一部であっても、支払に関する証明書類に記載されている以外の目的のために使用する意図がある場合、あるいは使用されると認識している場合、そのような支払を承認することも、支払を実際に行うことも許されません。

Lonzaでは、Lonzaの会計帳簿に未記録の資金や資産、あるいは虚偽又は人為的な記入がある場合、従業員が報告することを期待しています。さらに、Lonzaでは、出張や経費報告に関する方針に従業員が遵守することを期待しています。特に、従業員は承認済みプログラムを使い、あらゆるビジネス経費を提出し、正確に費用を分類して下さい。

●●● 基本データ: 記録の正確性

 Lonzaのグローバル出張に関する方針

事業提携

Lonzaでは、ベンダーの高い基準を保っています。当社のサプライヤーは、当社の持続可能な成長と総合的な成功への鍵として、重要な役割を担っています。Lonzaを代表して行う作業に関し、労働、環境、健康や安全に関する方針を含む、あらゆる方針を当社サプライヤーが厳守するように要求しています。


●●● 基本データ：事業提携

 Lonzaのサプライヤー行動規範

データプライバシー

Lonzaでは、従業員、お客様、ビジネスパートナーや当社と個人情報を共有しているその他の人々のプライバシーを尊重しています。Lonza従業員は、Lonzaが収集するどんな個人情報であっても、慎重に扱い、保護し、合法かつ適切に使用しなければなりません。

●●● 基本データ：データプライバシー

 LonzaのグローバルHRデータプライバシーに関するガイドライン

データ完全性

データ完全性とは、データの網羅性、一貫性と正確性を指しています。データ完全性は、GMPドキュメンテーション、データや記録が帰属可能性があり、判読可能で、同時期に発生し、原本で正確であることを保証するための基礎となります。Lonza従業員の1人1人が、自分が生成、収集、検討、分析、記録、報告したデータがこれらの原則を着実に実行していることを保証することに責任を負っています。

●●● 基本データ：データ完全性

 Lonzaのデータ完全性に関する方針

ソーシャルメディア

適切に使用すれば、ソーシャルメディアは、Lonzaにとって新たなコミュニケーションとコラボレーションの機会を提供してくれます。Lonzaでは、従業員が職場にいる時と同じプロフェッショナルな行動ガイドラインに従い、オンラインでも守秘義務を徹底することを期待しています。

●●● 基本データ：ソーシャルメディア

 Lonzaのソーシャルメディアに関する方針



実施方法

本行動規範は、現従業員および新入社員全員に提供されます。Lonzaでは、本行動規範を従業員トレーニングプログラムに含め、遵守状況を監視していきます。トレーニングはウェブベースまたはライブである可能性があります。本行動規範への遵守監査は定期的に行われます。

本行動規範実施時、Lonza企業はあらゆる現地法規則を考慮しなければなりません。Lonza企業の取締役会は、本行動規範の実施を有効にするために適切な決議を通過させなければなりません。

維持方法

Lonzaは、会社全体を通して、法的小および倫理的行為を支持する倫理およびコンプライアンスプログラムを所有しています。倫理およびコンプライアンスプログラムは、アドバイスとアシスタンス、教育およびトレーニング、モニタリングと制御活動が含まれます。倫理およびコンプライアンス関連トレーニングには、本行動規範に関する定期トレーニングが含まれ、1年を通じてLonza従業員に割り当てられます。Lonza従業員は、オンラインコンプライアンストレーニングポータルを通じて、または定期ライブトレーニングへ出席することで、割り当てられた全ての倫理およびコンプライアンストレーニングコースを修了しなければなりません。これらの必須トレーニングを予定通り修了できない場合、Lonzaマネジメントの裁量で、懲戒処分またはその他の是正処分となる場合があります。

当社の倫理およびコンプライアンスへの取り組みの基礎となるのは、Lonzaコミュニティ内のオープンさ、利用しやすさと話し合いです。従業員、Lonzaや公共の問題となる前に、ほとんどの問題は地域レベルで解決可能です。

Lonzaのオープンドアおよび非報復に関する方針により、特に、会社の方針や手順、GMPガイドライン、正しいデータや記録管理、および倫理や法律に関する質問など、どんなことに関しても、従業員はアイデアを提示し、質問を尋ね、不安を声に出して言うことが奨励されています。誠意に基づき、潜在的な倫理やコンプライアンス違反に対する懸念を提起した人物をLonzaマネジメントはサポートし、報復対象にはさせません。Lonzaには厳しい非報復方針があります。報復行為や報復すると脅迫する行為自体が、本行動規範の重大な違反と見なされます。

●●● 基本データ: グローバルオープンドアおよび非報復に関する方針

オープンドアおよび非報復に関する方針に加え、Lonzaでは問題や不安を報告するための秘密厳守な方法をいくつか提供しています。

メール

倫理およびコンプライアンスチームへ連絡する:
compliancegroup@lonza.com

オンラインまたは電話

多言語の倫理およびコンプライアンスホットライン (www.lonzaethicshotline.com) は、世界中で、毎日24時間、国毎の通話料無料番号で利用できます。倫理およびコンプライアンスホットラインは、サードパーティの報告サービスによりスタッフを配属しています。法律で許可されている場合、倫理およびコンプライアンスホットラインを利用する時に匿名オプションがあります。

郵送

Lonza Group Ltd.
Muenchensteinerstrasse 38
CH-4002 Basel, Switzerland
Attn: Group General Counsel

●●● 基本データ: 倫理およびコンプライアンスホットライン

管理方法

Lonzaマネージャーは、模範を示し、報復を恐れることなく、オープンかつ率直なコミュニケーションができる環境を奨励し、倫理やコンプライアンス問題に注意が喚起された場合に、すぐに行動をとることにリーダーシップを持つ責任があります。マネージャーが従業員に対し、Lonzaの方針や本行動規範や法律に違反するような結果を達成するように仕向けてはなりません。

行使方法

法律違反をすると、Lonzaおよびその従業員が民事および刑事処分を受ける可能性があります。その他の違反の影響には、事業の喪失、Lonzaへの信頼や信用の喪失、従業員個人の評判を傷つける、安全や環境リスクの増加などが含まれます。

本行動規範、方針や会社に関する法規制への遵守違反が疑われる場合、Lonzaが調査を行います。かかる調査が行われる場合、従業員は全面的に協力しなければなりません。Lonzaは違反に応じて、適切な是正処分を行う権利を有しており、そのような処分には停職や解雇が含まれる場合があります。



行動規範のいかなる面についても、皆さんからの意見を歓迎します。メールコメントをcompliancegroup@lonza.comまで送信して下さい。

Lonzaの行動規範は2017年10月25日に取締役会で承認されました。

全ての商標は、Lonzaまたはその関連会社、あるいは各サードパーティ所有者に属しています。本書に記載の情報は真実であり、最新の科学的知識や技術知識と一致すると考えられています。しかしながら、明示あるいは黙示を問わず、かかる情報の精度やかかる情報の使用により得た結果に関しては一切保証致しません。製品の中には全てのマーケットで利用できないものもあり、あらゆるタイプの用途には適さないものもあります。いかなるユーザーも、自身で判断し、Lonza Group Ltdが提供した製品や、Lonza Group Ltdが提供した情報や推奨事項が下記事項を満たしていることに納得していなければなりません：(i) 意図するプロセスや目的に適していること、(ii) 環境、健康や安全規則に遵守していること、および(iii) いかなるサードパーティの知的所有権を侵害しないこと。

© 2021 Lonza